

# 交通事故撲滅WG活動報告

---

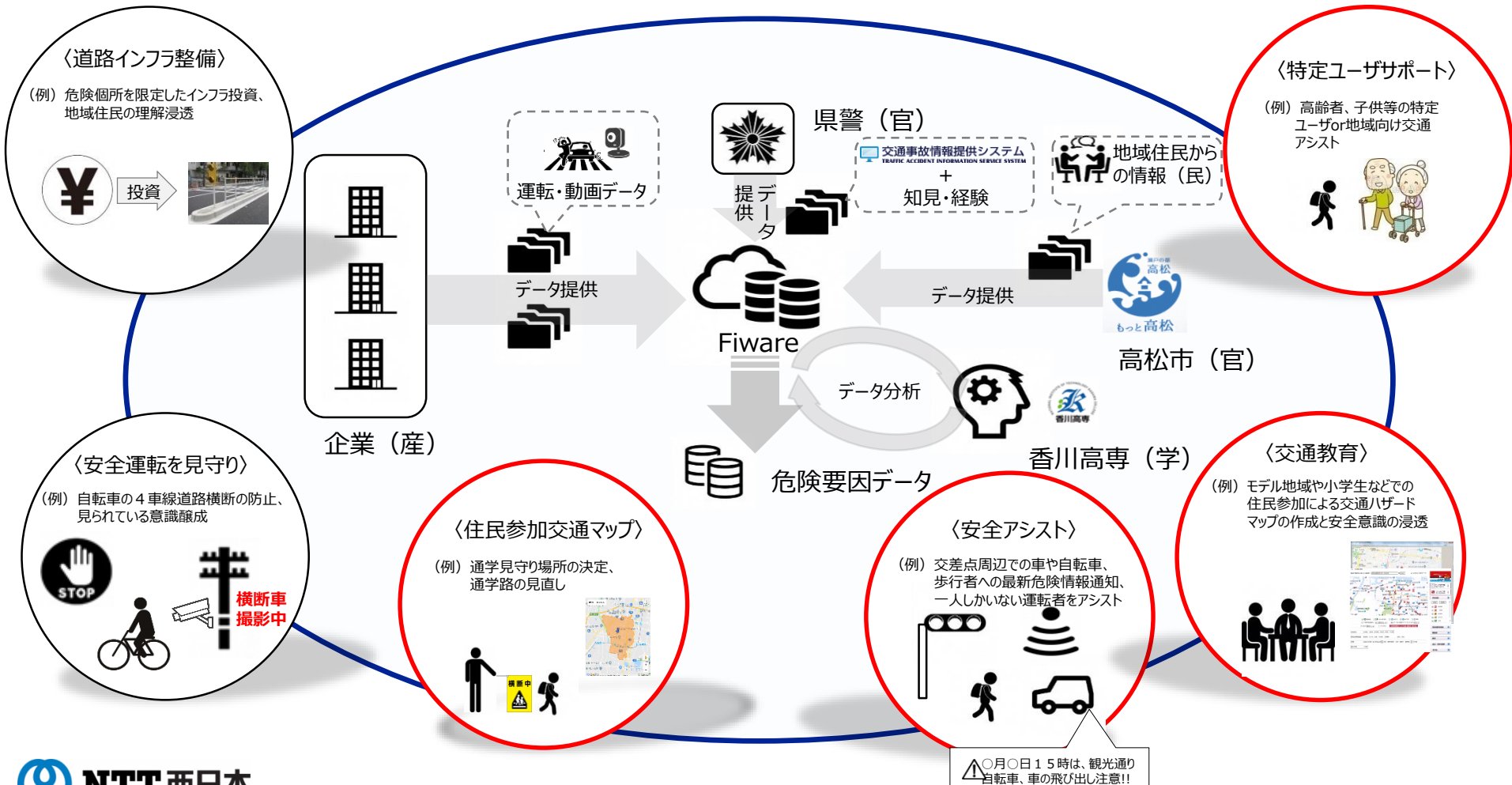
**2018年8月29日（水）**

**交通事故撲滅WG**

1. W G 活動結果報告
2. 交通事故抑制に向けたシステムイメージ
3. 効果シミュレーション（事業仮説及び目標）
4. 交通事故撲滅W G 活動状況
5. データ提供における検討結果と課題等

# 1.WG活動結果報告

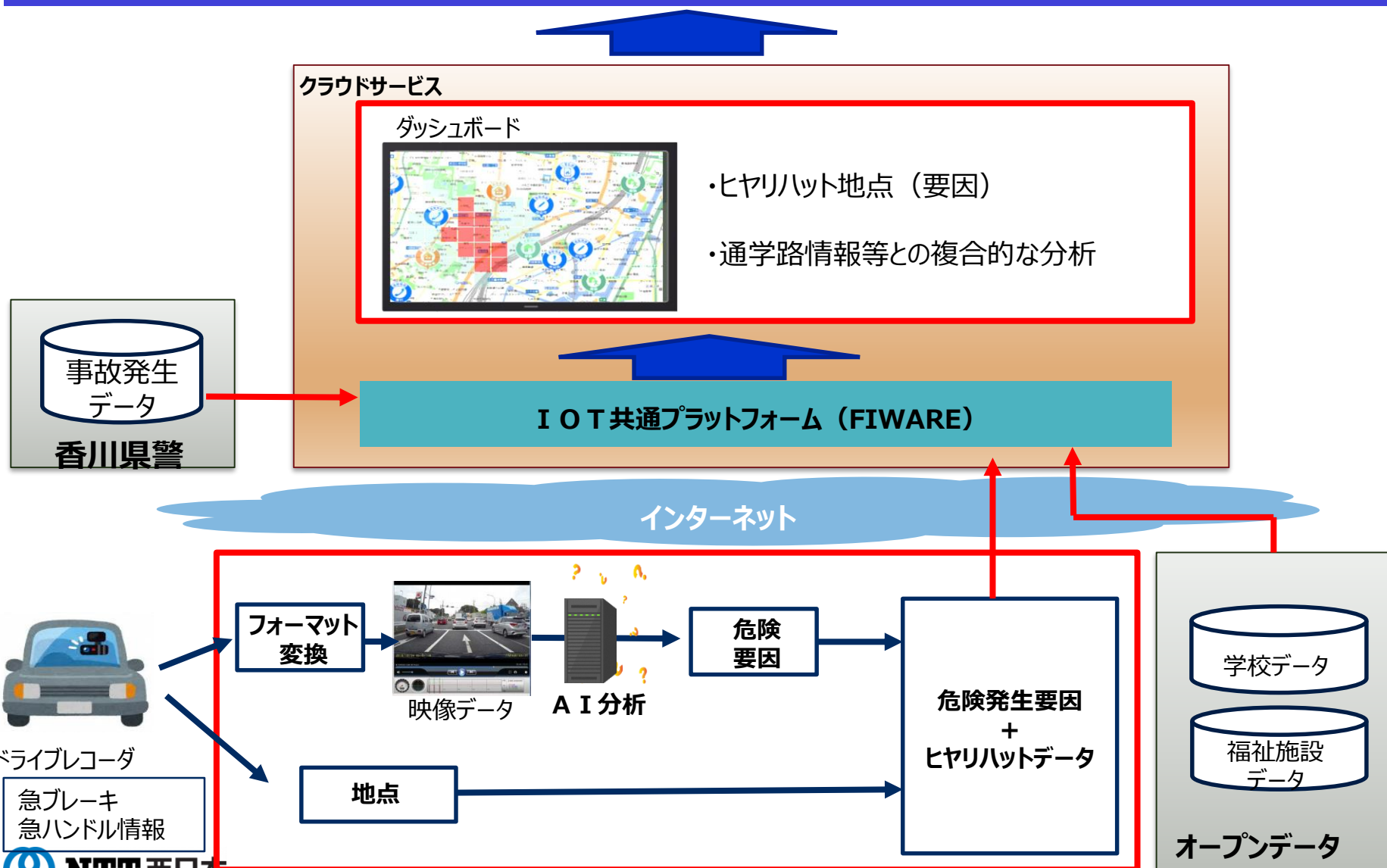
交通事故撲滅WG検討結果は、企業（産）が有するヒヤリハットデータ及び映像データと香川県警、高松市（官）が有する交通事故データや住民からの危険データの組み合わせにより、今まで発見できなかった交通事故を引き起こす危険要因を明らかにできる可能性が高いとの結論に達した。なお、前倒しての構築、効果実証の実現に向け調整中。



△月○日15時は、観光通り  
自転車、車の飛び出し注意!!

## 2.交通事故抑制に向けたシステムイメージ

### 交通事故抑制に向けた取組

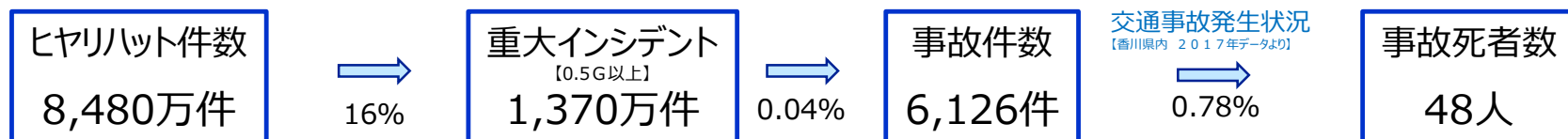


### 3.効果シミュレーション（事業仮説及び目標）

（事業仮説）ヒヤリハット件数を減少させると事故死亡者も減少する。

**ヒヤリハット件数15%削減 ⇒ 事故死者数前年比15%減（▲7名）**

【推定】



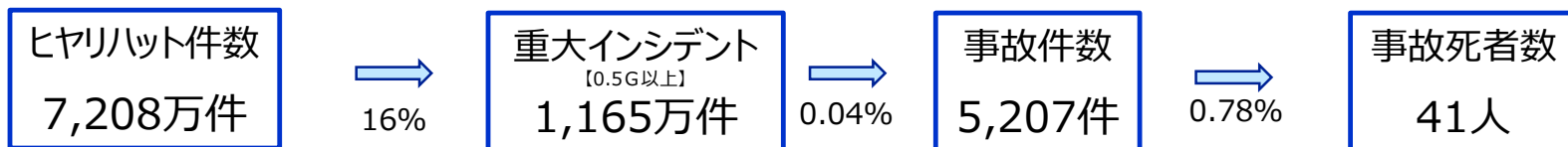
交通事故発生状況  
【香川県内 2017年データより】

＜効果シミュレーション＞

施策案	削減想定
ヒヤリハットデータMAP利用による注意喚起	-5%
高齢者・子供の分布MAPによる注意喚起	-5%
モデル地区における交通安全教室等の啓蒙活動	-3%
ヒヤリハット多発地点等の点検強化	-2%
施策合計	-15%



【推定】



【出典】事故件数・死亡事故件数⇒香川県警察HPより抜粋

# 4.交通事故撲滅WG活動状況

2月から8月末までに、5回のWGを開催するとともに、テーマ毎に個別議論は随時実施。

(参加メンバー)

香川県くらし安全安心課、香川県警交通企画課、香川高等専門学校、四国電力香川支店・高松支社、高松市くらし安全安心課、高松市総務局、西日本電信電話香川支店、日本電気（五十音順、敬称略）

8月以降、事業の進捗状況を踏まえつつ、定期的に報告会を継続する。

項目	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月				
開催日	第1回 2/20実施		第2回 4/24実施		第3回 6/4実施	第4回 7/24実施	第5回 8/21実施				
役割分担個別相談 意見要望聞き取り	←			→							
ドライブレコーダより リアル危険度マップ作成（暫定版）			←		→						
分析後の活用分野、活用方法 収集できる運転データや動画データ等の 現状把握及びデータ収集方法			←				→				
データ分析による仮説・検証						←		→			
分析結果活用による効果シミュレーション							←		→		
その他（予算関係） 運営委員会報告（8月29日）							←			→	

# 5.データ提供における検討結果と課題等

## 検討結果

- 民間も自治体が主に立ってくれば、データを出すことができる（営業源泉となるデータは難しい）
- 交通事故情報、民間が保有する情報及び地域の様々なデータ等を集約し、分析活用していくというアルゴリズムは、単純に急ブレーキの地点として登録する一般的な方法に比べ、より具体的な危険箇所（要因）の状況の提供を可能とし、交通事故抑止に寄与するものと期待できる
- 他社の取り組みに触れ、自社の取り組みの良さや不十分さを認識し、悪い交通マナー意識と行動を変えるきっかけを得ることができた

## 課題等

- WG活動円滑に行うためには、各社経営幹部の理解が重要
- 継続にはコストが必要かつ、強制力が弱いため、別の契約や枠組みの検討が不可欠
- 運営委員会等の別枠での官民データのオープンデータ化のルールづくり
- 高松市全体の公平な危険度の分析になるようヒヤリハットデータや映像データを多数の企業から継続的に提供する仕組みづくり
- 地域住民の危険度の情報は人によって異なるため、取り込み方や反映方法の確立
- AI等による人手をかけずに分析するための仕組みづくり

ご清聴ありがとうございました。